

連続3回講演会

『源氏物語』の恋と和歌



我が国古典文学の最高傑作『源氏物語』は、紫式部によって平安時代に成立した長編物語です。桐壺から夢浮橋までの全54帖で構成されています。物語の内容は、光源氏を中心とした平安貴族の恋愛をはじめ、栄光と没落、政治的欲望と権力闘争という王朝の人間模様を描いています。

このたび、『「源氏物語」引歌の生成—「古今和歌六帖」との関わりを中心に』（笠間書院）を刊行し、『源氏物語』研究の成果を発表している藪葉子さん（武庫川女子大学非常勤講師・NHK文化センター梅田教室講師）を講師にお迎えし、連続3回講演会を実施します。講演を通して、千年の時空を超えて、王朝貴族社会のみやびや、紫式部が伝える「もののあはれ」について学習します。

講演会日程

第Ⅰ部 10月21日（日曜日）

「若き日の恋のはじまり」

第Ⅱ部 11月18日（日曜日）

「つらい恋の終わり方」

第Ⅲ部 12月16日（日曜日）

「夢の浮橋へ」

講師 藪葉子さん

（武庫川女子大学非常勤講師・
NHK文化センター梅田教室講師等）

会場 大阪府立中央図書館2階多目的室

定員 各回80名（先着順、申込不要、受講無料）

時間 各回14時から15時30分（開場13時30分）

講演概要

第Ⅰ部 10月21日（日曜日）「若き日の恋のはじまり」

青年期の光源氏の女性たちとの出逢いのシーンをお話いたします。若き光源氏が、空蟬・夕顔・紫の上・朧月夜の君などと、どのように恋を始めていくか。王朝物語のみやびの世界をお楽しみください。

第Ⅱ部 11月18日（日曜日）「つらい恋の終わり方」

恋のつらい終わりは、『源氏物語』にもあります。光源氏や柏木といった男性主人公と女性たちとの恋の終結は、どのように描かれているのでしょうか。胸の内を吐露する和歌のおもむきも味わっていただきます。

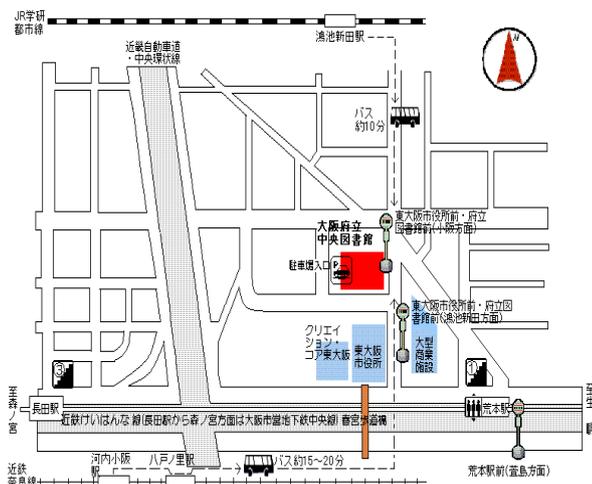
第Ⅲ部 12月16日（日曜日）「夢の浮橋へ」

この回では、薫や匂の宮といった、光源氏の次世代の恋をお話いたします。心の中に葛藤を抱えて懸命に生きる若き男女の恋模様と、宇治の地を舞台に描かれる『源氏物語』の終幕をご堪能ください。

【講師紹介】

藪 葉子（やぶ ようこ）：武庫川女子大学非常勤講師、NHK文化センター梅田教室講師等
平成9年大阪教育大学大学院修士課程修了、平成13年武庫川女子大学大学院博士後期課程修了博士（文学）。専門は『源氏物語』を中心とした平安文学。
著書に『「源氏物語」引歌の生成－「古今和歌六帖」との関わりを中心に』（笠間書院・単著）、『伊勢物語享受の展開』（竹林舎・共著）

※講演会の参加に際して、障がい等の状況により、配慮が必要な方は事前にお知らせください。



【アクセス】

- 近鉄けいはんな線（地下鉄中央線乗り入れ）
荒本駅下車（1番出口）北西へ約400M
長田駅下車（3番出口）北東へ約1000M
東大阪市役所北側

問い合わせ先

大阪府立中央図書館 生涯学習事業担当

〒577-0011

東大阪市荒本北1-2-1

TEL 06 (6745) 0170 FAX 06 (6745) 0262

【駐車場】

- 有料地下駐車場：120台/入庫後15分間は無料（平日は100円/60分、最大料金500円、土日祝祭日は150円/60分、最大料金600円）
- 詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/central/>